

令和4年度 2学期終業式（令和4年12月22日）

皆さん、こんにちは。予定より1日早くなりましたが、今日で2学期が終わります。

今年も残すところ、あと9日（ここのか）となりましたが、皆さんにとって、どんな1年だったでしょうか。今年も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、何とか、5月の体育祭や、10月の福学オリンピック、11月の文化祭と3年生の修学旅行、そして、就業体験、職場実習にも取り組むことができました。また、寄宿舎では、生活学習やセルフスタディ、様々な余暇活動も実施できて、大変嬉しく思います。それでは、この1年を、校長先生が皆さんに、これまで伝えた言葉や話で振り返ってみたいと思います。

1学期の始業式では、なりたい自分になるには、目標をもつことがとても大切だと話しました。そして、校訓にあるように意欲をもって、そして、「しな・サイ」と言われてからするのではなく、自分から「する・ゾウ」と取り組むことができる人になってくださいと伝えました。

4月の全校集会では、自分がされてうれしいことを周りの友だちに沢山して、そして、されて嫌なことは友だちにしないようにして、みんなで力を合わせて、福岡高等学園を「よりよい」学校にしていきたいと思いますとお話ししました。

1学期の終業式では、「のび太」が、弱気になっている「ドラえもん」に向かって言った「一番いけないのは、自分なんかダメだ…と、思い込むことだよ。」というセリフを通して、皆さんは、福学の生徒として、他の学校に通う生徒ができないような経験をして、いろいろな壁を乗り越えているので、もっともっと、自分に自信をもってほしいということを伝えました。

2学期の始業式では、「俺の敵は、だいたい俺です。」と言う漫画のセリフを用いて、将来、社会で生活していくためにも、「分からないこと」をそのままにする自分ではなく、自分を乗り越えて、「分からないことを分からない」と言うことができる人になってほしいと話しました。

10月の全校集会では、教頭先生から自由について話をしてもらいました。自由は、「自分勝手」とは違うこと。自由は、「楽ができる」ということでもないこと。自由だからこそ、自分で考え、判断し、行動しないとイケないこと。そして、自由には、人に対する「責任」と、自分自身に対する「責任」があるということを伝えました。

11月の文化祭では、アメリカのフリークライマー（登山家）の「一步踏み出せるなら、もう一步も踏み出せる」という言葉を用いて、文化祭で、皆さん、それぞれが、一步を踏み出せたと思うので、自信をもって、次の一步を踏み出して、それぞれの歩みを続けていってほしいと話しました。

色々ありましたが、覚えている話や言葉はありましたか。皆さんも、是非、自分で、大切にしたい言葉を見つけてみてください。

2・3年生の皆さん、去年、校長先生が話した「看板を背負う」という言葉を覚えていますか。役割と責任を果たす「看板を背負う」という意識は、将来も必要になるので、忘れないでほしいと伝えていましたが、このたび、サッカー部が、熊本県で開催されたもうひとつの高校選手権「九州地区予選会」で準優勝となり、九州代表として全国大会に出場することになりました。「九州代表」という看板を背負ったサッカー部の皆さん、その「看板」に恥じることのないような振る舞いを、普段からしてください。

さて、この後、皆さんは、通知表をもらうと思いますので、その通知表を見て、自分なりに、2学期やこの1年を振り返って、どうだったかを考えて、そして、次に向けて、どうしていくのかということを決めていってほしいと思います。

もうすぐ、令和4年（2022年）が終わり、新しい年である令和5年（2023年）がやって来るこの年末年始に、是非、「振り返り」と次の「目標決め」をしてほしいので、このことを、校長先生から皆さんへの冬休みの課題にしたいと思います。

明日から、冬休みです。友だちや家族、そして、普段あまり会わない親戚の方などと過ごしたり、街やお店に出掛けたりする機会も多くなると思いますので、是非、コロナに気付けながら、穏やかに過ごしてください。それでは、1月11日水曜日の3学期の始業式に笑顔で会いましょう。

来年も「CHANGE THE 福岡高等学園」を合言葉に、みんなで力を合わせて、「福学」をより良い学校に、していきたいと思います。これで、校長先生の話を終ります。

